

TopEye



組写真部門

「どこにいる」野田 吹乃 東京都立総合芸術高等学校2年



単写真部門
「Poker Face」市川 叶夢
群馬県立富岡実業高等学校3年



2024年度
第2回
TopEye
フォトコンテスト
結果発表!



2024年度第3回TopEyeフォトコンテスト

募集期間 10/25(金) ~ 11/10(日)

当日必着有効

詳細はコチラ



第72回ニッコールフォトコンテスト
スペシャルコンテンツ

入賞作品発表

11月上旬予定

詳細はコチラ

TopEye

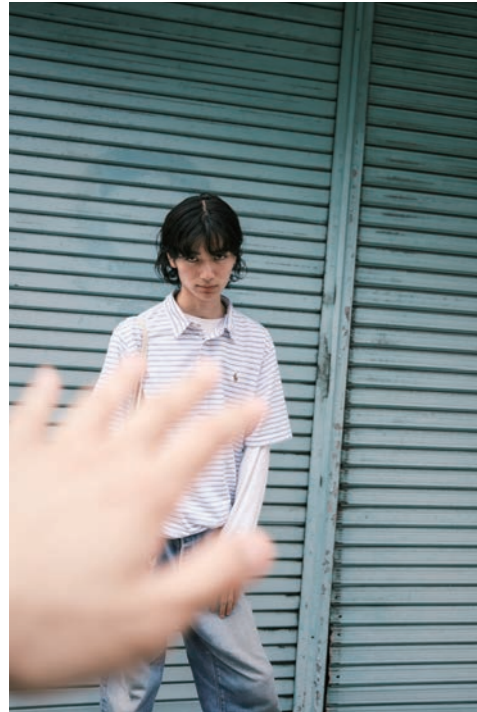
フォトコンテスト

2024年度第2回

2024年度2回目のTopEyeフォトコンテスト。1回目から100作品以上増え、1,000作品近い応募がありました。皆さんご参加ありがとうございました！

組写真部門

前回と比べ、等身大なポートレート作品が目立った組写真部門。TopEye賞は「早い段階で2人の意見が一致した作品です」と熊切先生。野田さん、おめでとうございます！



賞状 CREATORSグッズ5点

「どこにいる」野田 吹乃

東京都立総合芸術高等学校2年

「今の若者たちの雰囲気や上手に拾えていますね。狙いは持ちつつもいい崩しが効いています。自然な空気感だけどころか構図が計算されている。光と影の使い方も含めて被写体のコントロールが素晴らしいです」(熊切) 「眼差しはまっすぐだけど躍動感のあるポーズから、瑞々しさを感じます。真正面から捉えるだけではなく背景の作り込みもこだわりが見えて、組みで見たときよくまとまっています。あとは色みですね。広めの背景に対して色の作り出し方も柔らかく統一されていて、最後までこだわりを持って仕上げたということが伝わってきました」(秋山)

受賞のコトバ

「TopEyeありがとうございます。受賞できるとは思っておらず、とても驚いています。そこに存在している人をそのままやわらかく写すことを意識しました。自分にとって楽しい時間に撮った写真たちで、気に入っているので嬉しいです。これからも撮ることを存分に楽しんでいきます。ありがとうございました」



賞状 「シャツ+キャップ」

「はじまり」山根 楓

和歌山県立神島高等学校1年

「テーマがブレていないし、4枚以上の情報が込められた表現ができています。構図を一枚一枚しっかり変えて撮っているところに、写真を組むという意識と高いテクニックを感じます。とにかく上手です！」(熊切) 「いろいろなところを切り取ってその場所を記録したいという作者の思いが伝わります。距離感や視点を変えることで男性の雰囲気や山々の空気感をこちらも想像することができる。撮影者がきちんと被写体と向き合ったことがよく表れている作品です」(秋山)

受賞のコトバ

「金賞に選出いただきありがとうございます。この作品は、日の出の時間帯に美しい光を意識して撮影しました。田舎でシソを栽培する男性が、汗をかきながら作業する姿が、何かをはじめようとする姿に見え、心が動きました。写真から、『はじめよう』と声が聞こえるように何度も何度も繰り返し撮影しました」



賞状 CREATORSクロス

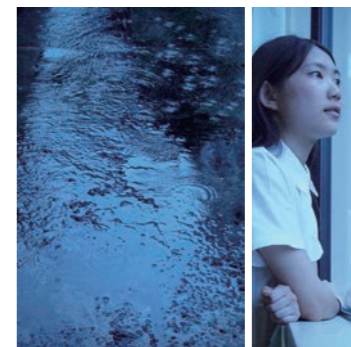
「〈熱と汗〉は、日常のワンシーンを変化をつけて上手に撮り分けられています。惜しいのは人物の向きが同じなこと。違う向きの人物がいるだけで世界を広く見せることができるので、組み写真の場合はとくに意識するともっといい作品になるはずですよ」(熊切)

「〈RGB〉は、1年生ながらコンセプトの立て方が素晴らしいです。緑だけ人工物のカーブミラーが目立ってしまっているの、そこは自然なもので揃えてもよかったかもしれません。また、並び順もRGBに合わせることを意識できたらもっとよかったです」(秋山)



「熱と汗」中芝 海里

和歌山県立神島高等学校1年



「RGB」當間 陸翔

沖縄県立那覇工業高等学校1年

「静思」中村 灯里

東京都立総合芸術高等学校1年

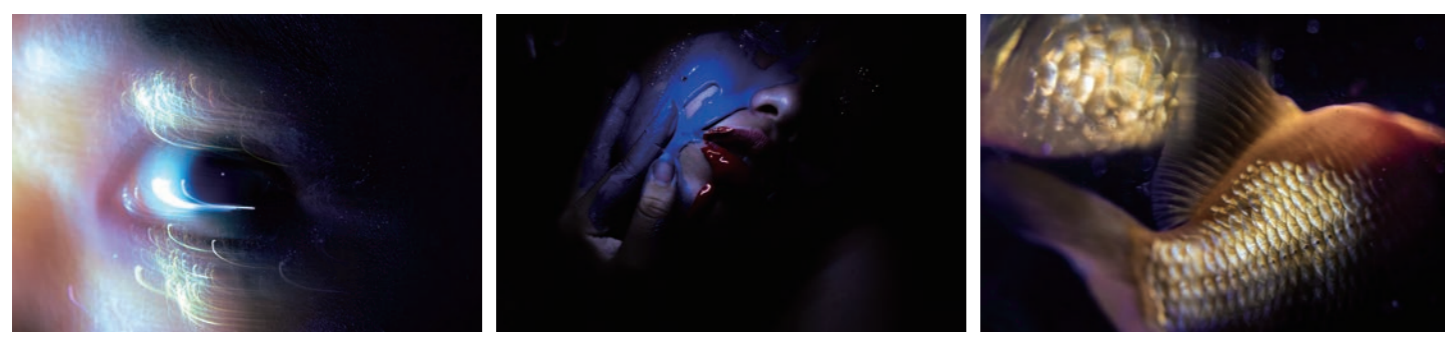
★
銀賞
2024 / 第2回
賞状 CREATORSキャップ

「ふれあい」は、被写体の魅力を引き出す撮り方ができていておもしろいですね。この距離感が素晴らしいなど。被写体とのコミュニケーションも含めて、しっかりと寄り切って腰が引けてないところが、非常に力のある作品だなと思いました」(熊切)
「草介の夏」は、ジリジリとした日差しの強さや季節感がよく表れた作品です。家族であるという関係性を生かして、汗の粒までも写すような距離で4枚を集めているからこそ、まとまりが感じられて水の香りまで漂ってくるような気がしますね」(秋山)

「祈る」 辛島 優風葵 同志社女子中学校・高等学校 高校3年(京都府)



「好きに息して」 倉本 妃杏 群馬県立富岡実業高等学校2年



「Night school」 加藤 大雅 宮城県白石工業高等学校1年



「ふれあい」 中畑 心 和歌山県立神島高等学校2年



「草介の夏」 山中 すみれ 和歌山県立神島高等学校2年



銅賞

2024 / 第2回

賞状 CREATORSタオル

「(大切な人)は、学生たちの未来を感じさせるキラキラとした印象を上手く3枚にまとめていますね。寒々しい曇り空に対して、子どもたちの瑞々しさが浮かび上がっているようなところが目を引きます」(秋山)
 「(眼差し)は、被写体としては王道だけど、王道なりにしっかりとその職人の作業と特徴を切り取っているところが評価できます。撮る角度によっては落ちがちで難しい目の部分も、光を上手く使いながらよく捉えられているのではないのでしょうか」(熊切)

「眼差し」 桃原 友歌
 沖縄県立浦添工業高等学校2年



「大切な人」 小林 結芽
 中越高等学校2年(新潟県)



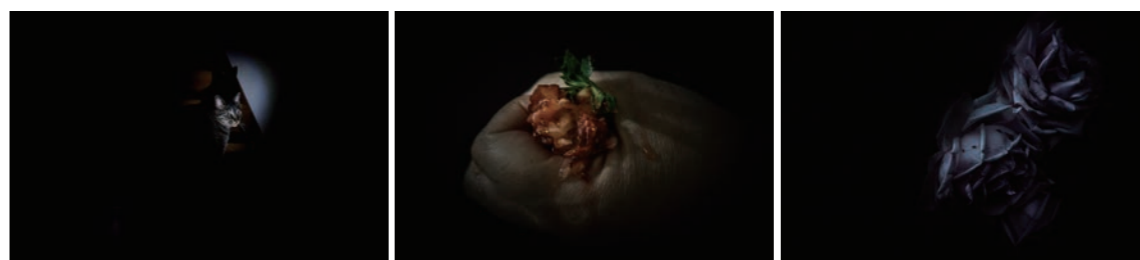
「仲良くなりたい」 竹野 陽向子
 豊川高等学校2年(愛知県)



「雨のあと」 清水 ひかり
 富山県立富山東高等学校3年



「感傷」 重松 綾菜 帝塚山学院中学校高等学校 高校1年(大阪府)



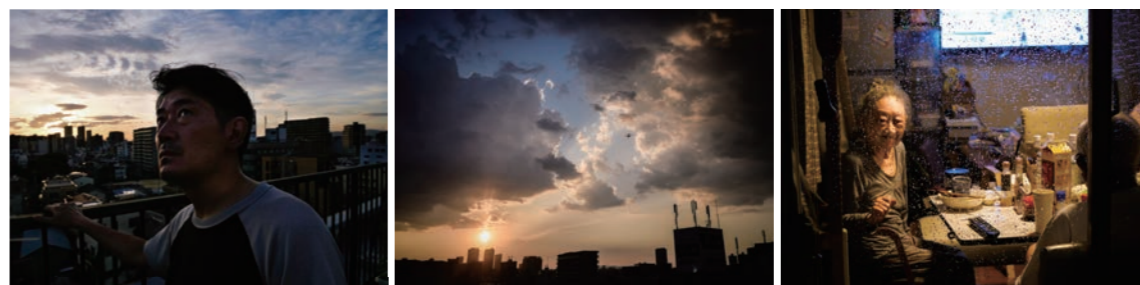
「祖母の歯」 生駒 咲樹 和歌山県立神島高等学校3年



「静かな午後の影」 出嶋 凌羽 和歌山県立神島高等学校2年



「通り雨」 眞中 理沙 帝塚山学院中学校高等学校 高校2年(大阪府)



「輝」 武元 綾花
 帝塚山学院中学校高等学校 高校3年(大阪府)



「blue hearts」 宮本 彩由奈
 山口県立下松高等学校2年



TopEye フォトコンテスト

2024年度 成績中間発表vol.2

詳細は表紙の
 次回締切
11/10日
 当日必着
 二次完コードからチェック!

組写真 部門

- 1位 和歌山県立神島高等学校 380pt
- 2位 宮城県白石工業高等学校 160pt
- 3位 八代白百合学園高等学校 140pt
- 4位 東京都立総合芸術高等学校、
 帝塚山学院高等学校 110pt

単写真 部門

- 1位 宮城県白石工業高等学校 200pt
- 2位 八代白百合学園高等学校 140pt
- 3位 沖縄県立浦添工業高等学校 110pt
- 4位 群馬県立富岡実業高等学校、
 神戸国際大学附属高等学校 100pt

入選

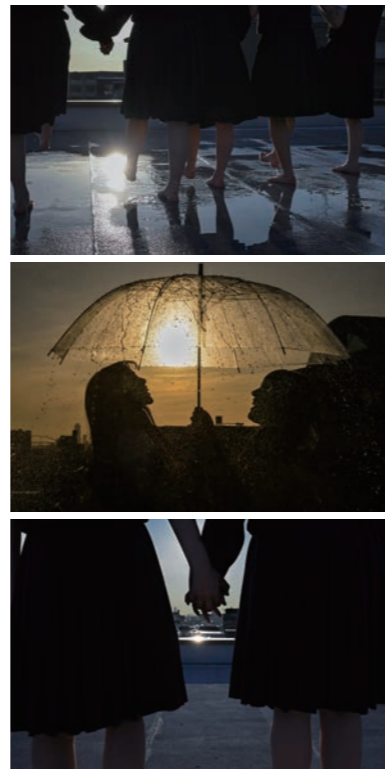
2024 / 第2回

賞状 CREATORSステッカー

「瞳の先に」は、ある程度の心づもりをしないと撮れない作品なんじゃないかなと。きちんと撮影しようという気持ちがあったからこそ、ここまでの寄りで、目を背けずに撮影できたのでは。「きちんと見届けよう。そして見届けてください」という作者の意図を感じました。光の状況もよく読み取れています」(秋山)
「ぼくのアジト」は、猫目線での切り口が新鮮でした。ローアングルによって小動物の目線を上手く表現できているし、どう見てほしいかという導きがしっかり作品の中に出ています。最後の猫のカットも、全身を写していたら説明的すぎる。目だけが出ていることで、オチと世界観をよく表すことができています」(熊切)

「ストロボデイズ」 福本 莉子

帝塚山学院中学校高等学校 高校3年(大阪府)



「一步」 知花 結

沖縄県立浦添工業高等学校2年



「予兆」 賀久 愛那

八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



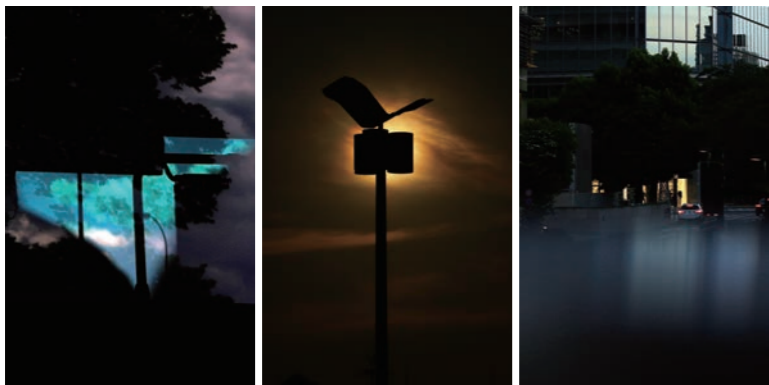
「静謐の水響き」 湯朝 悠正

宮城県白石工業高等学校2年



「都市異景」 安藤 捺貴

仙台市立仙台工業高等学校1年(宮城県)



「潮風の吹く町」 谷坂 陽菜

八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「瞳の先に」 横尾 凜

和歌山県立神島高等学校2年



「誇りを胸に」 金子 真奈実

八代白百合学園高等学校3年(熊本県)



「温もり」 吉岡 美緒

和歌山県立神島高等学校2年



「ぼくのアジト」 川下 未夕

日本大学第三中学校・高等学校 中学3年(東京都)



2024年度 第2回 総評

意外性のあるポートレートが見事でした

熊切：今回はとにかく男性のポートレートが多かったですね。年齢は高校生からお年寄りまで幅広かったですが、男性の表情を狙った作品が非常に目立ちました。一般的にはどうしてもポートレートって女性のイメージが強いジャンルなので、今回の結果は他の生徒さんにも参考になるのではないのでしょうか。

秋山：どのポートレート作品も、表情豊かで被写体の良さを引き出す撮り方ができていましたね。あとは、身近な風景でも絵になる場所やものがあるので、もっとそういうものにも目を向けて、チャレンジした作品も見たいなとも思いました。

熊切：そういう意味では、たしかに素朴な作品が際立ちましたね。体育祭のワンシーンなどをうまく工夫して撮れている写真もありました。その調子で、もっと被写体の幅を広げていってほしいですね。

秋山：カメラを持たないと出会うことができないような人やものを捉えた作品も、多かったからこその景色を体験させてもらったような気分でした。ただ、日常生活の中にもそういった特別な一瞬や見落としてしまうような瞬間はたくさん転がっているんですよ。日常の中からそういった被写体をもっと見つけ出してもらえたらと思います。



審査員 熊切 大輔

東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家・織作峰子氏に師事。大家として独立。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。公益社団法人 日本写真協会会長。

審査員 秋山 華子

大阪芸術大学写真学科卒業後、写真家・織作峰子氏に師事。大阪芸術大学写真学科非常勤講師。ニコカレッジ講師。ニコールクラブ アドバイザー。

単写真部門

組写真部門と同様に、ポートレート作品が比較的多かった単写真部門。それを象徴するように、TopEye賞は審査会場で一際存在感を放ったセルフポートレートが受賞しました！



賞状 Tシャツ+キャップ

「電光石火」林 夢人

関市立関商工高等学校2年(岐阜県)

「光という演出をかけて、スピード感や躍動感をあたえているおもしろいテクニックです。光の残像をうまく使うことで近未来感も出ていて。手前に写っているSLとのギャップがおもしろみになっていますね」(熊切)
「光り輝いている新幹線の近未来感に対して沈んだトーンで写っているSLっていうのが、1枚の写真の中できちんと対比になっています。見応えがある作品です」(秋山)

受賞のコトバ

「この度は金賞をいただきありがとうございます。リニア・鉄道館で撮影したものです。展示してある新幹線がまるで高速で動いているかのように長時間露光で撮影しました。シャッタースピードは4秒に設定して、最後の1秒でカメラを動かして光の流れを作る撮影を、何度も何度も繰り返しました。また、ホワイトバランスを変更して青くなるように調整しました。とてもクールな写真に仕上がって満足しています」



賞状 CREATORSクロス

「Go!!」麻生 優奈
八代白百合学園高等学校1年(熊本県)



「(裏)は、影のおもしろさを非常によく表現できています。とくに、人物の影だけでなく手すりの影も一緒に投影しているところ。画面の中にデザイン性を生み出したテクニカルな作品です」(熊切)
「(その先)は、画面の奥行きをボケを生かしながら作り上げることができていますね。人物の表情がとても自然で、撮影時のコミュニケーションや雰囲気作りにも長けていたんじゃないかなと想像できます。背景は作り込んでいるけれど人物の存在感が何よりも際立っているのがとてもいいです」(秋山)

受賞のコトバ

「今回はこのような賞をいただきありがとうございます。普段撮影している作風とは180度違う作品にチャレンジしてみました。写真家の須藤絢乃さんからインスピレーションを得て制作しました。自分を被写体にして写真を撮るといのは初めてのことで、ポーズや表情などをどのように作ればよいか分からず大変でした。長い撮影を部屋でしている中そっとしておいてくれた両親には感謝しかないです」



「Poker Face」市川 叶夢

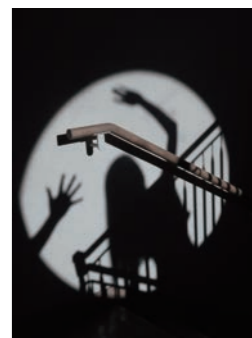
群馬県立富岡実業高等学校3年

「セルフポートレートはストレートな表現になりがちですが、この作品は陰影を使って、自分の個性や魅力を上手く引き出しています。本来は難しいことです。非常にインパクトがあってめずらしい作品。よく撮り切った!という感じです」(熊切)
「光の読み取り方も秀逸です。鎖骨や顔の立体感が出るように工夫しているところがとてもいい。セルフポートレートって、恥ずかしさがあると見ているほうも恥ずかしくなるもの。この作品は、自分を作品とする意識がしっかりなされているから、こちらまきちんと対峙することができます」(秋山)



賞状 CREATORSグッズ5点

「裏」富田 紗蘭
帝塚山学院中学校高等学校
高校1年(大阪府)



「その先」新井 悠斗
本庄東高等学校1年(埼玉県)



銀賞

2024 / 第2回

賞状 CREATORSキャップ

「(ガブっ)は、よくこの被写体を見つけてこの食べる瞬間を撮ったなど。中途半端に引いてしまうとただの昼食の写真になってしまうところを、思い切って寄ることで迫力のあるおもしろい表現ができています」(熊切)
 「(力強く)は、撮影者も砂をかぶって撮影したんじゃないかと想像させるほど勢いを感じられる作品ですね。光の状況をよく捉えつつモノクロで仕上げたことで、砂のきらめきや筋肉の陰影も引き立ち、非常に力強さを感じます」(秋山)

「気持ち、リセット」半沢 叶大
 宮城県白石工業高等学校1年



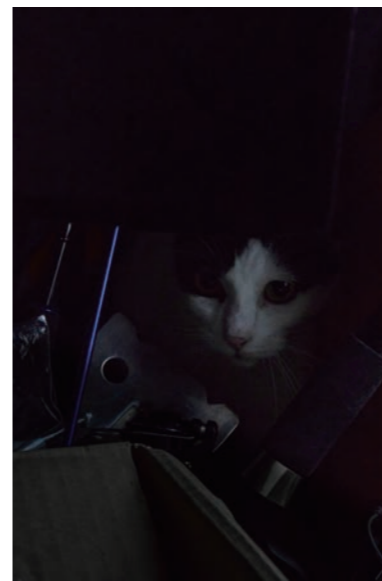
銅賞

2024 / 第2回

賞状 CREATORSタオル

「(はためく)は、背景や人物のボリューム感なども少し見せ方がある気もしますが、大漁旗を上手く画角に収めていますね。よく見ると人物たちもいい表情。作られた躍動感ではなく自然な一瞬の迫力をきちんと表現できています」(熊切)
 「(おもいきり)は、微笑ましくもインパクトを感じます。近い関係性だからこそ撮影できた表情なのでは。低いアングルから見上げて撮影したことで、青空と人物とトランペットの色のコントラストが生まれているのもいいですね」(秋山)

「隠れん坊」玉元 柳牙
 沖縄県立美来工科高等学校1年



「はためく」辻みなつ
 大阪府立生野高等学校3年



「たかさごの」藤野 大吾
 神奈川県立横浜瀬谷高等学校3年



「秘密の舞」上木 竜馬
 神奈川県立横浜瀬谷高等学校1年



「桜の面影」松岡 朋葉
 岐阜県立大垣西高等学校2年



「舞台」藪 優歌
 広島県立海田高等学校2年



「おもいきり」佐藤 成奈美
 中越高等学校1年(新潟県)



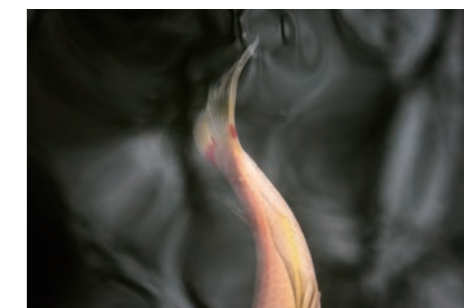
「Silhouette」田中 奏音
 八代白百合学園高等学校1年(熊本県)



「躍動の瞬間」服部 真侑
 岐阜県立大垣西高等学校2年



「ゆらぎ」丸山 世梨加
 和歌山県立神島高等学校3年



「sky backflip」磯野 来未
 福井県立丹生高等学校1年



「ガブっ」中山 鈴花
 沖縄県立浦添工業高等学校2年



「力強く」田組 夏凧
 和歌山県立神島高等学校2年



「夏の風物詩」岡田 将樹
 神戸国際大学附属高等学校1年(兵庫県)



「幸せな時間」梅田 知優

八代白百合学園高等学校2年(熊本県)



「美白効果」梅田 泰輔

神奈川県立横浜瀬谷高等学校2年



「鬱憤を晴らす」壇辻 永遠

大阪府立成城高等学校3年



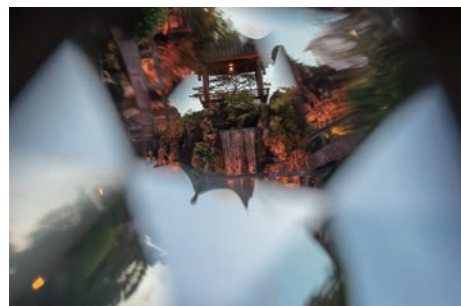
「最後の青春」鈴木 月渚

和歌山県立神島高等学校3年



「朧げ」中村 春香

沖縄県立美来工科高等学校2年



「獲物はあなたです」岡田 妃桜里

神戸国際大学附属高等学校2年(兵庫県)



「はじめての幼稚園」豊島 芽依

仙台市立仙台工業高等学校3年(宮城県)



「Travel」齋 秀哉

宮城県白石工業高等学校3年



「心のどこかで」村上 美紗

仙台市立仙台工業高等学校2年(宮城県)



Nikonの機材貸し出しサポート

ミラーレスカメラ を使ってみた!

今回貸し出したのは……



Nikon Z5

Z50

Z6II

人物、動物、花、風景、
学内の様子など思い思いに撮影!



関市立関商工高等学校



札幌北斗高等学校



東京都立上水高等学校



和歌山信愛中学校高等学校

使ってみてどうだった?

「普段はミラーレスではないカメラを使用しているため、軽く感じた。また画質がとてもよく、暗所でもキレイに撮影することができてとても満足している。欲しくなりました!」(生徒)

「軽くて女子生徒にも好評でした!」(顧問)

「本校の生徒は一眼レフ機をメインで使っているのですが、ミラーレスは使い方が簡単だと感じていました!」(顧問)

「Z5とZ6IIをお借りしました。24mm-200mmのレンズは交換の手間が省けてすごく便利だったそうです。今回のサポートが参考になり、Z50ダブルズームを2台購入しました!」(顧問)

「ミラーありのカメラに比べて、次々と素早くシャッターが切れて気持ちのいい撮影ができました!」(生徒)

「取り回しが軽くて、写りが非常に素晴らしかったです。シャッター音も静かなので、さまざまなシーンで撮影に気を遣う必要がないのもよかったです!」(生徒)

2025年度も機材貸し出しサポートを実施予定。ぜひ応募してください!



賞状 CREATORSステッカー

「[獲物はあなたです]は、ただ寄って撮っただけではないというところがいいです。猫や場所の雰囲気、世界観をきちんと感じ取ることができます!」(秋山)
「[幸せな時間]は、非常に自然なファミリーの仲の良さを表すことができていますね。オフショット的に撮ることで、パチッと決めた本番の写真では切り取れないようないい表情を押さえられている。狙いのタイミングがすごくよかったんじゃないでしょうか!」(熊切)

up-and-coming

目標に向かって突き進む
フォトグラファーを紹介!

vol.1



櫻子さん

埼玉県本庄市出身。早稲田大学文化構想学部卒。多重露光を用いた儂い世界観の表現が得意。自治体や企業のタイアップ、写真教室やワークショップも行う。ニコンカレッジ講師。

Instagram: @sako_photo | Portfolio: sakophoto.portfolioinbox.net

愛用カメラ Nikon Zf

いくつかのカメラを使い分けていますが、お気に入りにはNikonのZf。フルサイズでありながらコンパクトなので、遠出にも便利です。

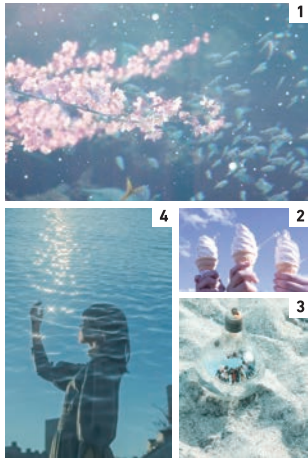


等身大な自分をさらけ出すこと

写真を本格的に始めたのは大学生のとき。小さい頃から遊びとしてデジカメラに触れてはいたが、映像のワークショップに参加するため一眼レフを叔父から借りたのがきっかけでした。それまでは写真より映像に興味があったのですが、練習で友達や風景を撮っていくうちに、いつの間にか写真にのめり込んでいったんです。「趣味のほうが幸せかな」と思い大学卒業後は会社員としてIT企業に就職しましたが、副業で写真のお仕事をすることをきっかけにフリーランスのフォトグラファーに転身し、今年2年が経とうとしています。今こそ、多重露光を中心に自分らしい写真活動ができていますが、大学生のときはまわりの写真仲間と自分を比べては悩んでいたことも。写真を始めるのが遅かったぶん、まわりの実力の高さに圧倒されていました。ですが好きな写真家さんに「素直になり

ましょう」と言われて、腑に落ちたというか。いろいろ悩みすぎずに、好きなものを好きなように撮ろうと思えたんです。その頃から大切にしているのは、逃さずに撮ること。上手い下手も構図も後回しでいいから、いいと思ったらとにかく撮る。そうすれば「このときも撮らなければよかった」とはなりません。

私は今「高校生のときにカメラを始めていればよかった」とすごく後悔しているんですよ。なので学生の皆さんには、日常の瞬間をぜひカメラで残してほしい。過ぎたら戻れない日々を切り取って欲しいです。上手く見せようとしなくていいんです。私もそうしようともがいた時期がありました。振り返ると、等身大な自分をさらけ出したほうがよかったなと思っています。技術ばかりではなく、自分なりの感性や好きな気持ちをぜひ大事にしてみてください。



1.私の代表作。大学生のときに撮った作品ですが、いまだにこれを越えられません。2&3.写真を撮り始めた頃の写真です。この頃から深い世界観が好きでした。4.自分なりに加工をしていたら、たまたまたどり着いた多重露光。本来じゃフィルムで行う手法なので、私の場合は「デジタル多重露光」と定義しています。

イベントアフターレポート



「清流の国ぎふ総文2024」

2024年7月31日から8月5日にかけて、岐阜県にて「清流の国ぎふ総文2024」が開催。ニコンのブースでは、今年もニコンちゃんとともにZfcのカラーバリエーションやZ30、Z50の実機を展示しました。会場では、全国写真展の作品展示や、講演会、生徒交流会などを実施。交流会では学校の垣根を越えて、皆さんが撮られた写真を見せ合いながらお話を楽しみました。8月2日に実施された撮影会は、岐阜市内コース、各務原市内コース、飛騨高山コースの3つに分かれて、それぞれ興味のある被写体を撮影するなど大充実の内容に。次回の開催も楽しみです!

大会概要

全国高等学校総合文化祭は、全国の高校生による芸術文化活動の祭典。全国から約2万人の高校生が集い、約10万人の観覧者が訪れる、いわば「文化部のインターハイ」! 総合開会式やパレードからなる開会行事から始まり、19の規定部門と3つの協賛部門で発表・展示・競技などが行われる。開催地は昭和52年度の第1回大会から各都道府県が持ち回り。今回の岐阜県での開催は、昭和59年度の第8回大会以来40年ぶり。2巡目のトップバッターでもある。



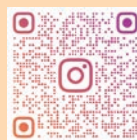
「高校写真部員向けフォトセミナー」

2024年8月23日(金)にニコンプラザ東京、9月23日(月・祝)にニコンプラザ大阪にて、高等学校文化連盟全国写真専門部主催による「高校写真部員向けフォトセミナー」が開催。東京はニコンカレッジ講師の酒井梨恵先生、大阪はクキモトリコ先生を講師に迎えました。酒井先生はカメラのレンズ効果、写りの違いの比較、構図について解説。作品講評では生徒さんの作品に「さらに良くするには?」という視点でアドバイスをしてもらいました。大阪では、セミナーの前に撮影会を開催。異なる学校の生徒さんが3人ずつのグループになり、組写真の制作に挑戦! グループ制作の工夫や大変だったところを話しながら、クキモト先生に講評をしてもらいました。先生の作品を拝見したり、他の生徒さんの作品を見るのも刺激になった様子。皆さんが撮影した作品から、カメラと写真を楽しんでいるのが伝わりました!

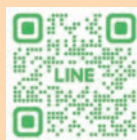
WEB・SNS展開中!

チェック&フォローお願いします

TopEyeの公式Instagramでは、コンテストの入賞作品や取材のひとコマ、写真展案内など日々更新中。また、ニコンイメージングジャパンの公式LINEではニコンの製品やキャンペーン、ニコンプラザなどの最新情報をお届けします。ぜひフォローしてください!



「TopEye」Instagram



ニコンイメージングジャパンLINE



ニコンイメージングジャパン「TopEye」WEBサイト